

# 「感性をのばす 英語保育」

～子どもたちの未来のために 今～



ベビーホームゆりかご



# ゆりかごは、こんな園です。

## 保育方針

- ・家庭的雰囲気のもとで一人一人の子どもの豊かな人間性を育成する。
- ・家庭と連携を図り、保護者とともに子育てをする。



## 保育目標

- ・個々の生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・基本的な生活習慣を身につけられるようにする。
- ・生活や遊びの中で物事をよく見つめ、考え、探求する心をはぐくむ。
- ・心身ともに思いやりのある子を育てる。







# 今、子どもたちに必要なことは…




グローバル化が進み、多様性に柔軟に対応していくことが求められるこの時代。

さまざまなことに興味をもって取り組む力と、自分の考えを持ち発信する力が必要となります。

園では、現在、中国・ベトナムからのお子さんを保育しています。様々な国の方とふれあう機会がありますが、毎日、コミュニケーションをとることを大切にしながら保育にあたる日々で、「たのしい！」と話す子どもの笑顔に保護者の方々も安心し、その言葉に保育者も嬉しくなります。




# 保護者のみなさんの声



自分の思いを言葉にできる子に  
したい！



習い事をさせたいけれど、  
何がいいのかわからない…



小さいうちから、色々な  
経験をさせたい…

# 遊びの中からこそ、身につく力があります。

楽しいことが大好きな  
子どもたち。  
遊びの中だからこそ、  
「もっと！」と意欲的に  
英語に向かう表情が  
見られます。





# 子どもたちの感性が輝く、素敵な時間です！

英語の発音は、大人には難しいと思われがちですが、子どもたちは柔軟に受け入れ、「聞く力」が育ちます。

日本語と英語のギャップが少なく、抵抗を感じずに、楽しみ、また褒められることで自己肯定感が育まれます。



抵抗感が少ない分吸収がとても速く、保育や遊びの中で表現することで、表現力が豊かになります。

異文化にふれ、興味を持ち、親しむことで、多様性が身につきます。

# 「だいすき！」がいっぱい！



## ダンス、だいすき！

大好きな歌とダンスで、身体を動かしたり歌ったりすることから、自然と英語の世界にひきこまれていきます。

## 絵カード、だいすき！

子どもたちにとって身近な単語に、絵カードを使ってふれます。  
先生のマネをして、ものの名前を言うことから楽しみます。  
お片付けもできますよ。







## パズルやシール貼り、だいすき！

指先を使った遊びが大好きな子どもたち。集中して取り組み、できた時の達成感を味わうことで、自信にもつながり、自己肯定感も育まれます。

## 絵本、だいすき！

カラフルな絵本に、興味津々の子どもたち。想像力をふくらませながら、集中して聞き入ります。





# 前年度の子どもたちの姿



「今日、英語ある？」と  
毎回、楽しみに  
していた！

歩きながら、歌って  
楽しんでいた。



絵本からトイレを流すときの英語を  
覚え、「フラッシュ！」というなど  
日常に取り入れていた。



色を英語で言うことを  
楽しんでいた。



# 保護者からの喜びの声

家でも、あいさつや色、  
ものの名前など  
英語をはなすことがあり  
ビックリ！

金銭的負担がなく、助かる。

「今年もやってもらえるんですね」と  
喜んでいました。

なかなか習い事など通う時間が  
とれないので助かる。

ホームページに、楽しそうな英語の  
時間の表情が出ていて、嬉しい！





# 幼児期は出会ったものすべてに 心を動かされる時期



一般に幼児期は、日々の生活の中で、直接的・具体的な体験を通して豊かな心情・意欲・態度を培い、成長・発達を促していく。

その際、幼児は、新しいこと、珍しいこと、楽しいことなど、様々な場面で「もの」や「こと」に感じて心が動き、表現する。

この「感じる力」(感性)は、自然・もの・人とのかかわりの中で培われ、人間の情緒・情操を養い、豊かな人生を築くための大きな力となる。

引用元: CiNii 幼児期の感性を育てる(1)幼児期の感動体験と教師の役割

# 幼児期に「感じる心」を育てることが、 その後の「学び」につながっていく

未就学児は「考える」よりも「感じる」ことにたけている(右脳優先)が、さまざまな知識を得るにつれ、「考える」こと優先(左脳優先)に変化していくと言われる。

子どもが深く感じ、心を動かされるような経験が、好奇心や探求心となり、それがやがて思考力をはぐくみ、学びへの意欲となる。

**感性とは、「生きる力」といえる。**





# 特別な、楽しい時間!!

小学校の低学年から英語にふれるようになり、より英語が身近なものになりつつある時代となりました。

物心がついた頃から、遊びの中で英語にふれていることで、英語に対する抵抗感がなく、自然に受け入れていく子どもたち。

何よりも「たのしい！」の笑顔があふれています。

そして、楽しい時間だからこそ、感性がはぐくまれ、語彙が広がるきっかけにもなります。



# そして、これから…

楽しい教材がたくさんあり、今は、2歳児が楽しんでいますが、将来的に、保育士がもっと保育の時間に英語に親しめるようなスキルを身に付け、0・1歳児にも広げていきたいと考えています。

また、これから、福島のもも・なし・りんごなどに直接ふれ、味わうことで、五感で感じ、福島を身近に感じながら英語に親しみ、自分たちの暮らすこの土地への郷土愛を育んでいきたいと思えます。

それが、食育にもつながっていくことでしょう。





# 最後に…

子どもたちの笑顔のために。  
そして、健やかな育ちのために。  
「ゆりかごに預けてよかった」  
その声が聞きたくて…。

子どもたちの成長を見守る  
応援団であり続けたいと思います。

